

e-learning を活用した研修体制の構築

研究分担者 今井 富裕 札幌医科大学保健医療学部

研究要旨

現在、難病診療に携わる多業種の医療従事者の研修体制を構築するため e-learning の制作を試みている。これまでに、制作コンテンツの基本コンセプトの確立や作業プロセスの明確化が進められ、基本の雛形となるサンプル動画が制作された。性質の異なるコンテンツを共通のコンセプトで制作することは難しく、e-learning を制作する上で様々な問題点が明らかとなった。

A. 研究目的

現在 難病診療に携わる多業種の医療従事者の研修体制を構築するため e-learning の制作を試みている。令和元年度は、製作中に明らかとなってきた問題点を分析し、基本コンセプト、サンプル動画の制作、コンテンツの収集案の作成を行った。本研究で明らかになった制作課題を今後のコンテンツ収集に役立てることを目的とする。

B. 研究方法

厚労省難病研究班、プロデューサー、クリエイティブ・ディレクター、Website 担当、動画担当の 5 者で creative team を組織した。これまでの Website の制作実績、他学会での e-learning 制作実績、e-learning での教育実績を持ち寄り、1) 制作コンテンツの基本コンセプトの確立、2) 作業プロセスの明確化を進め、今後コンテンツを収集していく上で、基本の雛形となるサンプル動画の制作を試みた。

(倫理面への配慮)

動画制作にあたり、患者が登場する場合は匿名化を行い、個人が特定されないように配慮した。また、当該患者には文書で説明と同意を取得した。ただし、今年度中に制作された内容には該当するものはない。

C. 研究結果

コンテンツとして取り上げる内容が、「わが国の難病医療体制の紹介」、「神経筋難病の解説」、あるいは「具体的な医療行為・介入手技のノウハウ」等、異質なもの

であっても共通のコンセプトで制作されることが確認された。共通の達成目標としては、デザイン、システム、コンテンツに大別され、それぞれ学びへの意義・モチベーションの向上（がみえるデザイン）、学習への集中力の向上（をうながすシステム）、学びの要点をついた明快な映像（に基づいてシンプルに細分化されたコンテンツ）を備えることを挙げた。現在、web design, top image movie, copy writing, e-learning system, e-learning contents (movie, PDF) の担当に分けて、それぞれの企画が進んでおり、順次企画が確定されている状況である。これまでに確定した基本コンセプトに基づいてサンプル動画が制作され、それぞれの学びのあとの設問や付与される certification についても原案が作成された。

D. 考察

性質の異なるコンテンツを共通のコンセプトで制作することは難しい。たとえば、医療体制の役割を理解するための動画は制作しづらく、逆に介入手技は文字で説明しづらい。また、それぞれのコンテンツにとっての至適時間が異なっている。Website の構成や動画フォーマットのポイントは明らかにすることができたが、今後のコンテンツを収集していく上で、どのような対象者（視聴者）がどのような知識あるいは技術を取得するために本 e-learning で研修を行い、certificate を取得するのか、より明確に制作意義を示す必要がある。

E. 結論

Website の基本構成や動画フォーマットなど e-learning を制作する上での wireframe を確立することができた。しかしながら、この e-learning で研修する内容を再検討し、コンテンツを選定していく必要がある。

F. 健康危険情報 該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表 該当なし
2. 学会発表 該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 該当なし
2. 実用新案登録 該当なし
3. その他 該当なし

e-learningを活用した研修体制の構築

A. 研究目的
難病診療に携わる多職種の医療従事者の研修体制を均等化し、かつ効率的な研修を行うために有効なe-learning websiteを制作する。

B. 研究方法
これまでのWebsiteの制作実績，他学会でのe-learning制作実績，e-learningでの教育実績を持ち寄って，基本コンセプトと作業プロセスを明確にし，基本の雛形となるサンプル動画を制作した。

合格点に達しなかった場合は動画から再履修する。

A. ログイン登録画面

B. 動画閲覧画面

C. 設問画面

D. 受講証一覧画面

＜図1. e-learning websiteの構造＞

C. 研究結果と考察
Websiteの基本構成や動画フォーマットなどe-learningを制作する上でのwireframeを確立することができた（図1）。今後、コンテンツを収集していく上で，どのような対象者（視聴者）がどのような知識あるいは技術を取得するためにこのe-learningで研修を行い，certificate（受講証）を取得するのか，より明確に制作者意図を示す必要がある。